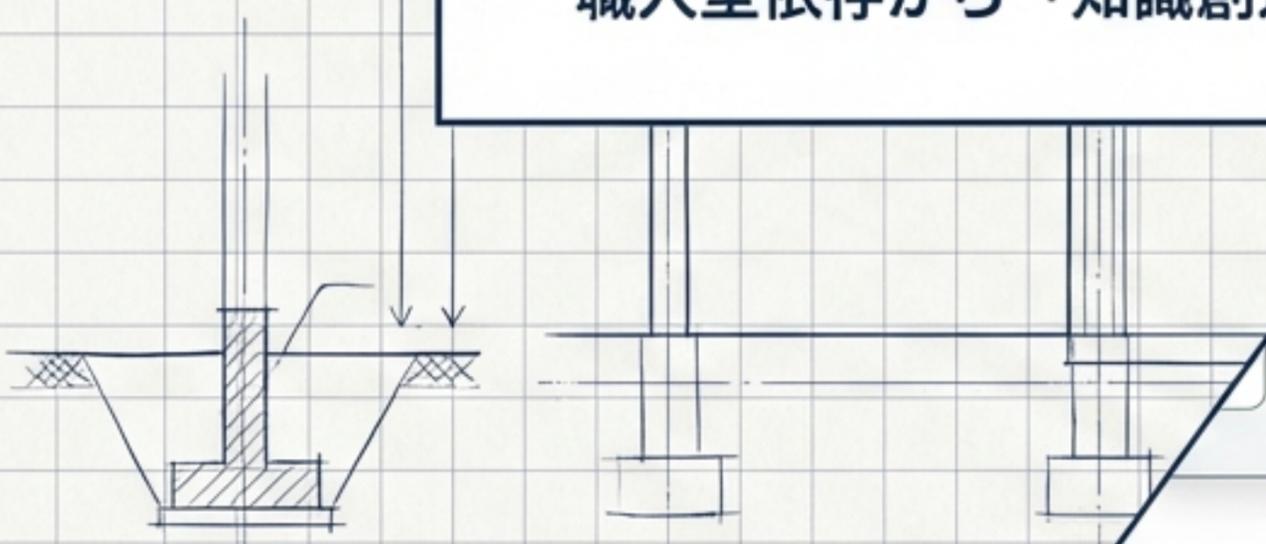


GRID AXIS A-1



青写真からダッシュボードへ

職人型依存から「知識創造型マネジメント」へのパラダイムシフト

ダッシュボード

プロジェクト進捗



ダッシュボード

プロジェクト

レポート

設定

¥12.5億

総収益 ▲+5%

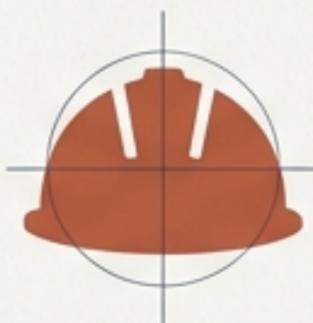
25件

進行中プロジェクト



株式会社プロジェクト・イノベーション
代表取締役CEO 古谷幸治
プロジェクト管理会計士

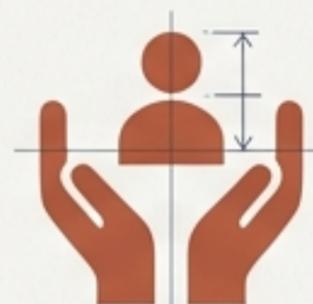
“「企業は人なり」



製造業とは異なり、建設・プロジェクト型ビジネスの成否は「現場代理人」の采配に完全に依存している。



彼らの手腕こそが、企業の利益と存続を決定づける。



しかし、私たちはその「人」を本当に支援できているのだろうか？

崩壊に向かう「職人依存」の限界



1. 企業の老化現象

経験豊富な現場代理人に依存する一方、次世代の「職人」が育たない。

2. 属人化の極み

「勘と経験」に頼るブラックボックス化されたプロジェクト管理。

3. 疲弊する現場

経営陣からの過度なプレッシャーと、煩雑な管理業務に忙殺されるマネージャー。

現場代理人は「経営者の代行者」である

経営目標と必要利益

現場代理人 / PM

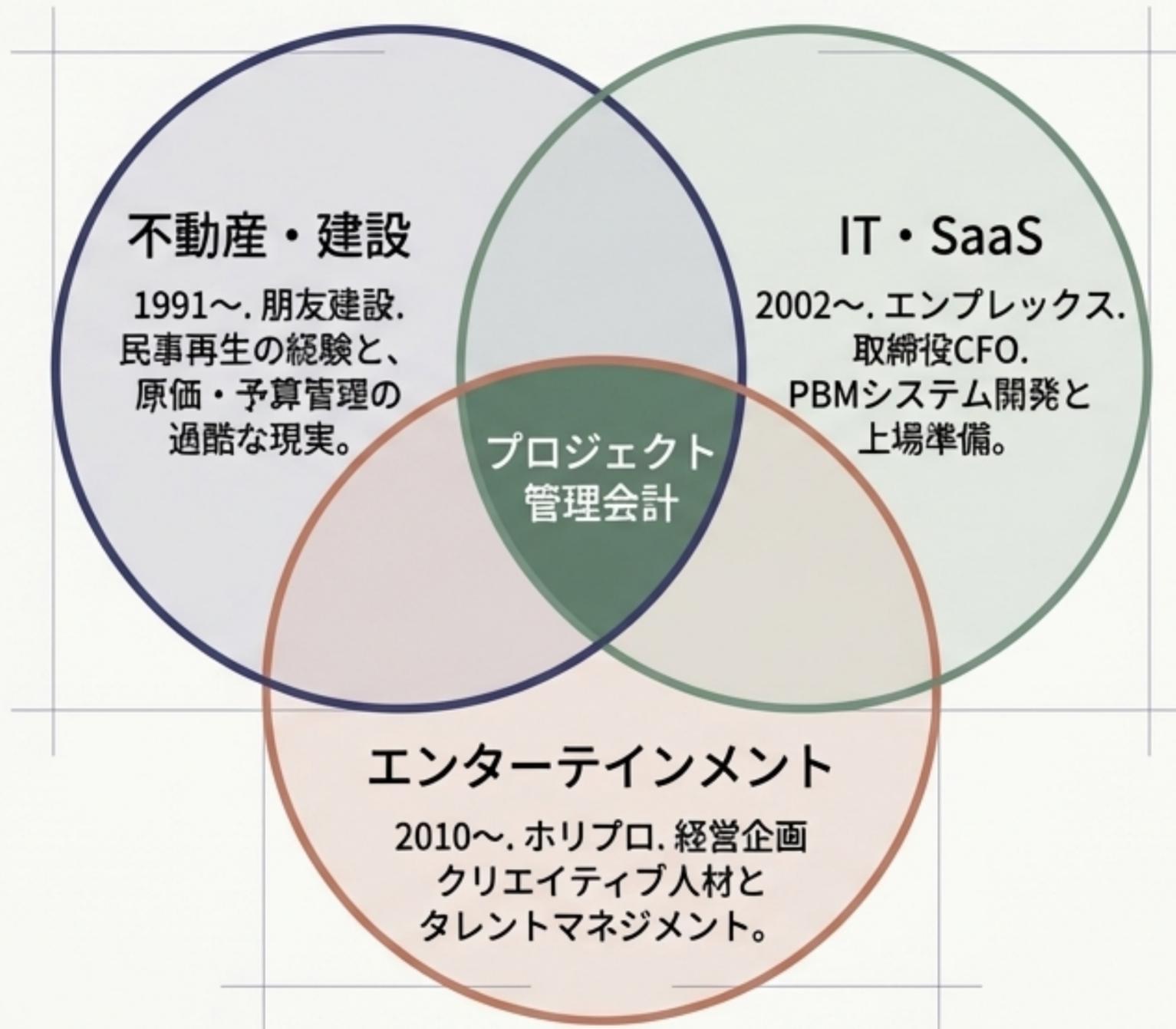
現状の矛盾

プロジェクトの全責任と企業の命運を背負わされながら、彼らに与えられているのは「部下を持たない課長」という中途半端な権限と、旧態依然としたツールのみ。

結論

根性論で彼らを追い詰める時代は終わった。構造的な支援システムが不可欠である。

全てのプロジェクト型ビジネスに共通する「真理」



建設も、IT開発も、映像制作も、根本的な課題は全く同じである。

「職人型依存」から「知識創造型マネジメント」へ

	旧モデル：職人型依存	新モデル：知識創造型マネジメント
位置づけ	モノを造る人	知識を創造する人
判断基準	勘と経験	データと予測
管理の焦点	過去の原価・事後対応・バグ修正	未来の採算・フォーキャスト
組織体制	属人化・孤立	統合連携・ダッシュボード



プロジェクト管理会計

経営と現場を繋ぐ、最強の共通言語



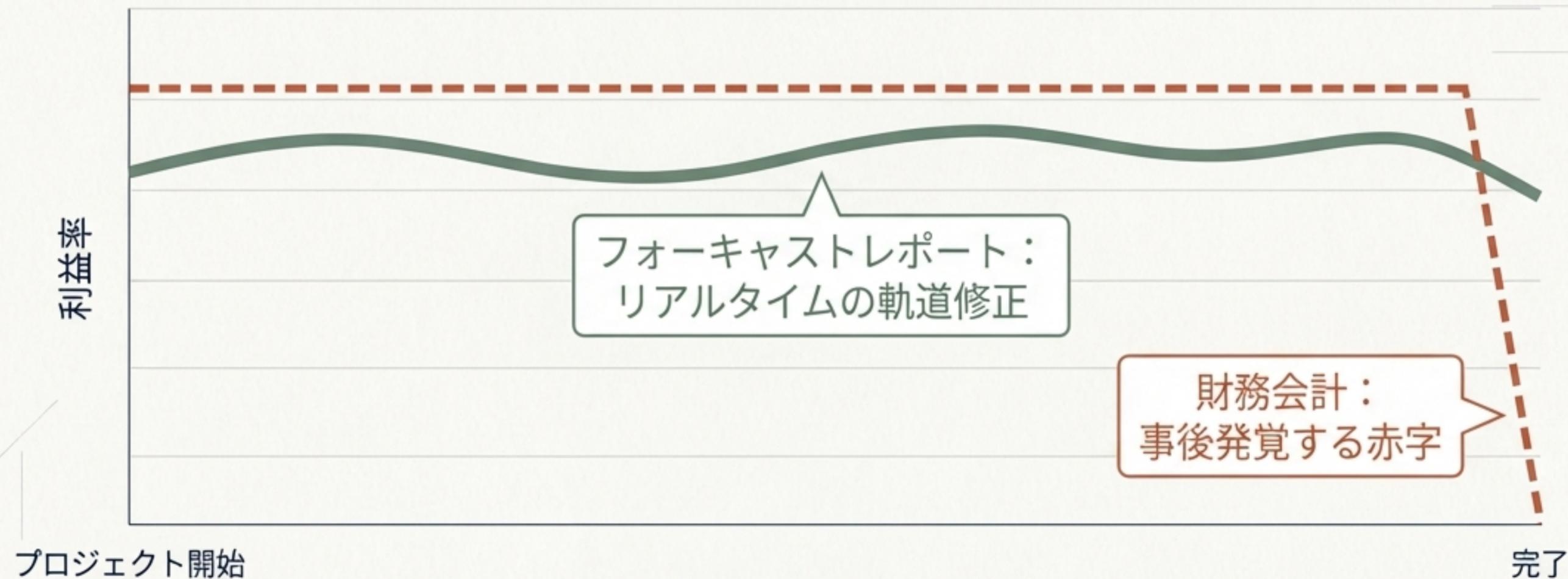
- プロジェクトごとの採算を「事後」ではなく「リアルタイム」で可視化し、未来の利益をコントロールする体系的メソッド。
- IT、会計、経営管理のスペシャリストが200社以上のコンサルティングを経て導き出した最適解。

利益創出のコアエンジン：「実行予算」



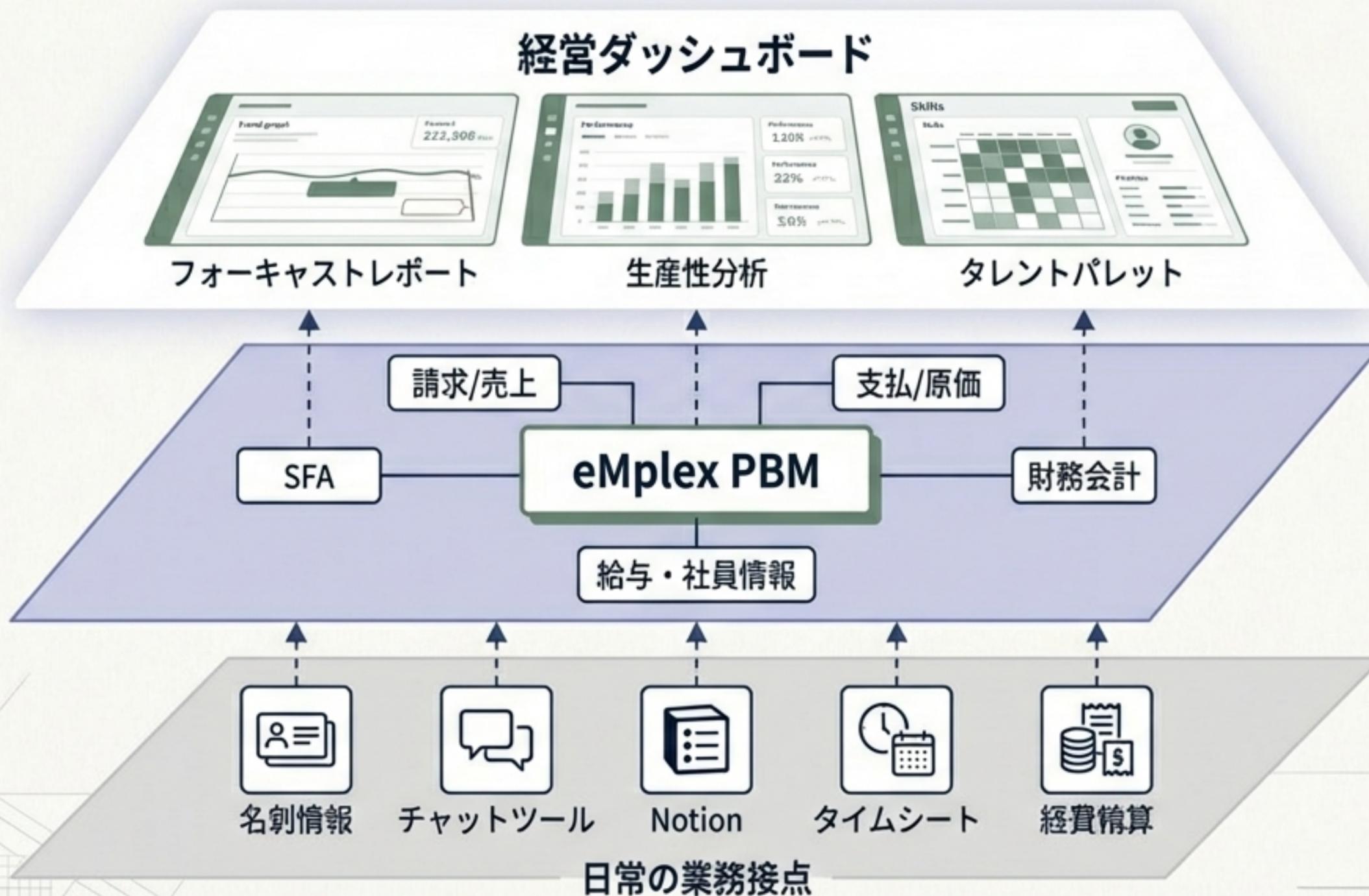
実行予算は単なるスプレッドシートではない。
目標を達成し、所要値をインプットするための極めて高度な経営基盤である。

「過去の集計」から「未来のフォーキャスト」へ



ソフトウェア開発におけるバグ修正や仕様変更のリスクを、
早期に予測・吸収する。

プロジェクト管理データ・アーキテクチャ



データが人を縛るのではない。データが人を解放する。

The Past



過去の束縛

煩雑な事務作業、終わらない履歴入力、
見えない予算に追われる「事務員」状態。

The Future

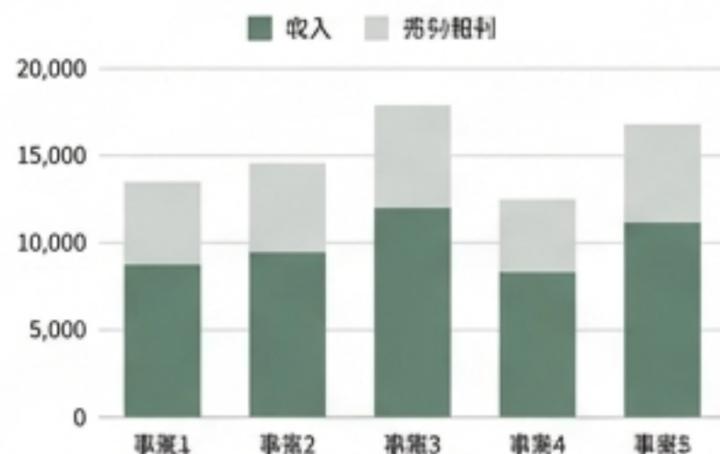


未来の解放

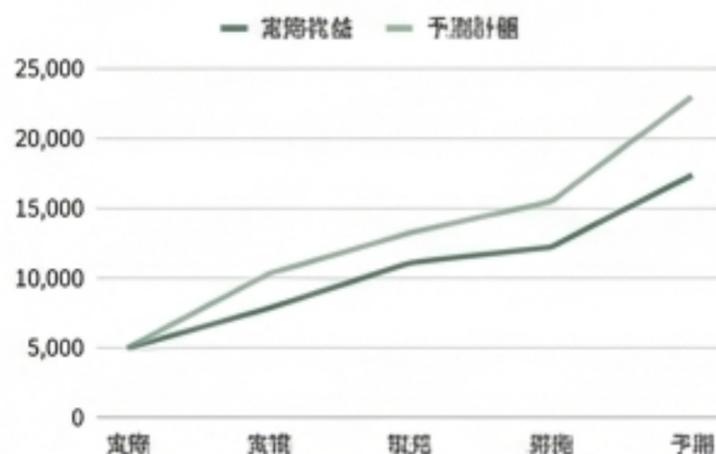
PBMエコシステムが管理業務を自動化。
現場代理人は真の「経営者の代行者」として、
高度な知識創造とマネジメントに専念する。

経営層向け「プロジェクト起点のダッシュボード」

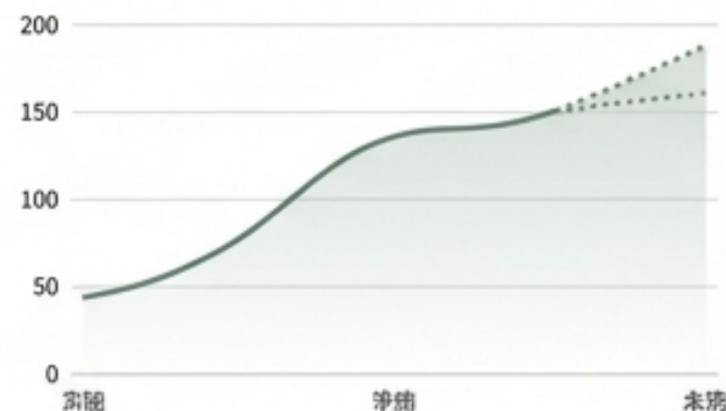
事業別売上・粗利レポート



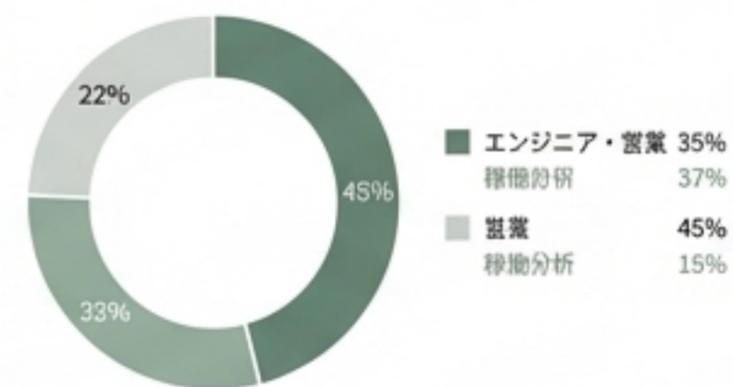
プロジェクト収支実績レポート



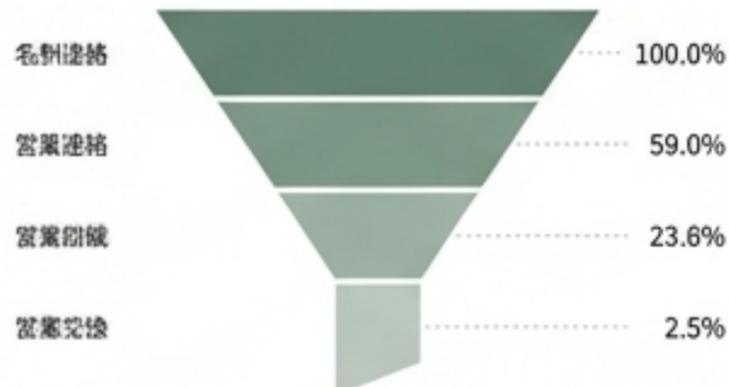
フォーキャストレポート



エンジニア・営業 稼働分析レポート



名刺起点の営業支援トラッキング



タレントマネジメント可視化



数字の管理から、パーソナル・ブランディングの武器へ

ダッシュボードを活用した圧倒的なクロージング・プレゼンテーション。透明性と予測力で信頼を勝ち取る。



データを軸としたリテンション強化と、MAによる個人のパーソナルブランディング活動の可視化。

会社を動かすのは「人」である。

そして、人を動かすのは「優れた仕組み」である。

工業社会の呪縛から抜け出し、知識創造型のプロジェクトマネジメントへ。
貴社のダッシュボード構築を共に始めましょう。